

豊田市長 太田 稔彦 様

豊南地域会議 提言書



令和5年5月25日

提 言

豊南地域の「高齢者の移動支援の取組」に対する豊田市の支援について

豊南地域会議は、「高齢者の移動支援」を課題と選定し、グループワークやアンケート調査等を行ってまいりました。

豊南地域としては、移動支援に対する取組を検討中の自治区を筆頭に、「高齢者が地域内において生活に必要な外出ができる移動手段があり、持続していく」まちを目指し、各種事業に取り組んでまいります。

つきましては、豊田市においても、地域による移動支援（共助）の実施にあたり、充実した支援をしていただくよう、別紙のとおり提言します。

豊南地域会議 会長 鈴木 久雄

豊南地域「高齢者の移動支援の取組に対する支援」の提言について（別紙）

1 課題選定理由

『地域会議は地域の中長期的な課題を深掘する審議機関に特化していく』ことを受け、令和3年度から豊南地域における課題について改めて協議を行った。

「移動支援」、「交通安全」、「防災対策」等、いくつかの検討テーマがあがったが、「自治区内で移動に困っている高齢者が少しずつ増え始めている」、「坂が多くて、バス停まで行くのが大変。」といった委員の意見や、自治区長に聞き取りをした際に、「高齢者の移動について課題と感じている」という自治区が半数以上であったことから、「移動支援」についての課題の深掘や解決策の検討について取り組むこととした。

2 これまでの検討内容と見えてきた課題

(1) 地域会議での検討内容

時期	方法・内容	見えてきた課題
R3 11月～ 3月	グループワーク ・豊南地域の課題抽出	・地域課題の抽出 「移動支援」、「交通安全」、「子育て支援」等について協議⇒「移動支援」を選定
R4 4～7月	グループワーク ・高齢者の移動の課題について深掘	・免許返納後の交通手段がないので返納しづらい。 ・近くに商店もなく、歩いて買い物に行くことができない高齢者がいる。
8月	豊田市の公共交通計画について知る ・交通政策課から説明	・公助（公共交通機関）、自助（自ら移動すること）が難しい高齢者が増えることが予想される。 ・地域による移動支援（共助）の視点が重要
10月	地域の交通、移動支援マップの作成 ・課題を俯瞰的にとらえるため、豊南地区の公共交通機関（バス停、鉄道駅）や病院、スーパー等を白地図に落とし込み、地域内の移動サービスを可視化	・公共交通機関については、今、水源町、前山自治区あたりが空白になっている。 ・地図上、平山自治区周辺はバスが通っているがバス停までの坂が多く不便 ・水源東地域タクシーが利用可能なエリアでも、運行曜日が限られていて便利とはいえない。 ・山之手、丸山自治区周辺は比較的公共交通機関や商店、病院が充実している。
9月～ R5.1月 ～	グループワーク ・高齢者の実態を把握するためのアンケート調査内容について検討 アンケート調査（R4.11月実施） グループワーク ・アンケート調査結果の検討	（アンケート詳細は裏面で記述）※ ・地域別にみると特に平山町（平山自治区）、河合町（今自治区）で「移動に困っている」と答えた方の割合が高い。 ・今は移動に困っていなくても、今後免許返納を検討するにあたって困る人がさらに増えると予想される。

(2) 検討結果と地域の課題のまとめ

- ・中学校区内でも自治区単位で課題が異なる。
- ・平山自治区、今自治区は特に移動に困っている高齢者の割合が大きく、共助の取組が求められている。
- ・今後免許証の返納が進むと、移動に困る高齢者がさらに増えることが予想される。
- ・現在、平山自治区や今自治区で移動支援に関する取組の導入を検討している。そういった地域での取組を進め、その成果を豊南地域で共有していく。

3 目指す姿

- (1) 高齢者が、地域内において**生活に必要な外出（買い物や通院など）**ができる移動手段がある。
- (2) 鉄道やおいでんバス等（公助）のほかに、**地域による持続可能な細やかな移動支援**が実施されている。（共助の取組）

4 地域による移動支援（共助）の取組

<平山自治区> お助け隊によるボランティア輸送

（検討案）自治区内でボランティアを募り、ボランティア輸送を実施

（時期）令和5年度下半期に本格的に導入予定

（準備状況）お助け隊ボランティアの募集（現ボランティア5名）、制度の検討

（課題）・法律面で問題ないかの確認（今後運輸局へ相談予定）

・持続的な運営ができるか。

<今自治区> 自治区でタクシーチケットの販売

（実施内容）自己負担300円で1000円程度の子ケットを販売
自治区予算の中で足りない分を補填する。

（時期）令和5年6月から導入予定

5 行政に期待すること

○地域へのアドバイス（特に法律面に関するサポート、国へ相談、他市での取り組み事例などの情報提供等）

○財政的な支援（車両の確保や保険料の助成、その他必要な支援策の検討と実施）



【地域の移動支援マップの作成】



【グループワーク】

※アンケート調査について

①アンケート概要

目的：豊南地区に住む高齢者の現状の移動の実態や、移動に関して困っていることを把握すること。今後の豊南地区での交通のあり方の検討を行うための基礎資料とする。

対象：豊南地区に住む75歳以上の高齢者500人

②アンケート結果

○買い物・通院・その他について移動に困っているかについての全体・地域別集計(単位/人)

【全体】

活動先(無回答除く)	困っている	困っていない	困っている人の割合
買い物(n=349人)	80人	269人	22.9%
通院(n=327人)	78人	249人	23.9%
その他(n=277人)	61人	216人	22.0%

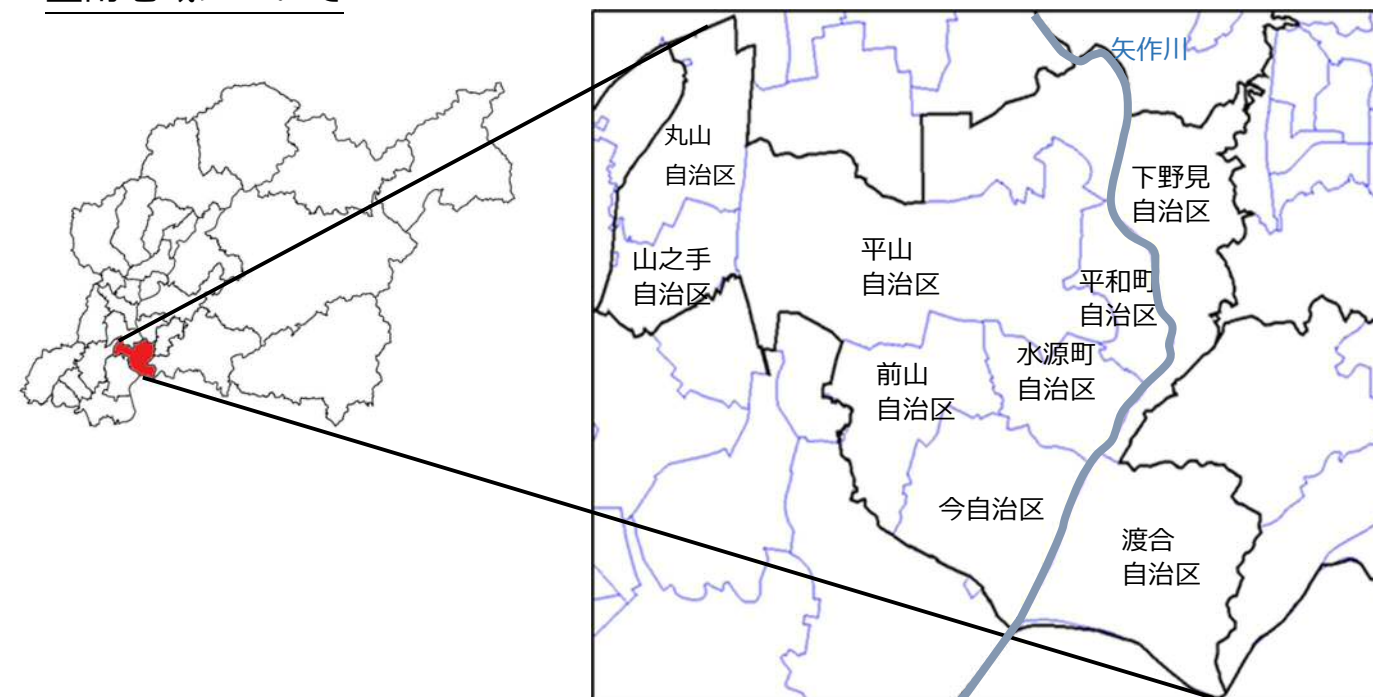
【地域別】

居住地域	買い物()内は割合		通院()内は割合		その他	
	困っている	困っていない	困っている	困っていない	困っている	困っていない
平和町	4(26.7%)	11	3(21.4%)	11	3(21.4%)	11
明和町	9(17.0%)	44	10(20.4%)	39	9(21.4%)	33
前山町	4(16.7%)	20	7(29.2%)	17	3(16.7%)	15
平山町	15(44.1%)	19	14(45.2%)	17	9(32.1%)	19
秋葉町	3(15.8%)	16	4(21.1%)	15	3(18.8%)	13
今町	4(14.3%)	24	2(7.7%)	24	3(14.3%)	18
河合町	8(40.0%)	12	6(35.3%)	11	3(25.0%)	9
山之手	11(20.8%)	42	9(17.6%)	42	10(23.2%)	33
丸山町	3(13.6%)	19	5(25.0%)	15	4(23.5%)	13
水源町	17(27.0%)	46	16(27.1%)	43	12(23.5%)	39
渡合町	0(-)	4	0(-)	3	0(-)	2
室町	1(9.0%)	10	1(10.0%)	9	1(10.0%)	9

見えてきた課題

- ・全体で見ると困っていると答えた割合は2割程度だが、地域別にみると特に平山町(平山自治区)、河合町(今自治区)で「移動に困っている」と答えた方の割合が高い。
- ・今は移動に困っていなくても、今後免許返納を検討するにあたって困る人がさらに増えると予想される。
- ・家族による送迎がないと移動できない人がいる。

豊南地域について



面積	9.5	km ²
人口	総計	27,399人
	男性	13,921人
	女性	13,478人
うち外国人人口	788	人
世帯数	13,057	世帯
平均年齢	43.45	歳

